



世界に希望を生み出そう  
RI 会長テーマ

2023～2024 年度  
大船渡西ロータリークラブ会報  
**七福人**



会 長 紀室 綾子  
副会長 松田 福美  
幹 事 三田地大悟

= 会長指針 =  
希望を胸に心ひとつに

．．． 例 会 記 録 ．．．

8月第2週例会 2023年8月10日(木)

ソング : それでこそロータリー ボックス : 13,000円 (報告者 門田 崇会員)

お客様紹介 : みんなのしるし合同会社 まえがわじゅうじょうさま 前川十之朗様 ほんまりこさま 本間理子様

本日出席率 : 45.45% 前回修正後100% (メークアップ 12名) (報告者 上野 哲会員)

★ 会長の時間 : 紀室綾子会長



先日、8月5日夏祭りの日に、財団・補助金管理セミナーに盛岡まで行ってまいりました。また、クラブR財団委員長は義務出席でしたが、船砥財団小委員長の代理として、盛岡に住まいのある石川クラブ奉仕委員長にお願いし、規定通りの2名で参加をいたしました。この日時については、祭りの時期と言うことで、他クラブからもクレームが出ました。案の定というか、残念なことに途中退席者が多くみられてしまいました。

夏祭りは「さんさ」だけではないわけで、今後開催日は7月末ごろを目途に考えるとのことでした。また、パワーポイントを使つてのセミナー、講演でしたので、目と耳を有効活用することによって長丁場、目をつぶることなく受講してまいりました。講師の方は、先輩の方々もおり、PCのちょっとしたトラブルも回避し、進行を続けられたのには、かなり勉強されているのだろうと感心をしました。このパワポでの資料等は2520地区のホームページにも掲載されておりますので、ご覧いただければと思います。後日、ロータリー財団委員長(我がクラブでは小委員長)船砥会員より、卓話をいただく予定でありますので、パワポを使うのかどうか、楽しみにしたいと思います。

さて、今日の会長の時間はお客様の講話がございますので、皆さんに宿題をおあげして終わりにしたいと思います。皆さんの手元にある一枚の資料「表彰ということ」小檜山 博(こひやま ひろし)、財団セミナーの資料と共に渡されました。佐藤剛ガバナーエレクトよりと書かれてありますが、これに関してご本人もセミナーにいらしていたのですが、何も触れることなく終わってしまいました。

ただ、とても感動したというか、考えさせられてしまう内容で、読んだ後、石川会員と二人で涙ぐんでしまいました。ガバナーエレクトが何を思って私たちにこれを渡されたのか、エレクト自身の真意や思いを、お聞きしようと思っております。そして、皆さんがこれを読んでどんな思いを、何を感じたかを宿題とし、後日、会長の時間で皆さんとともに、お話ししたいと思います。口頭でも FAX でもメールでも、どんな形でも構いません。どんな思いでも忌憚なくご意見をいただきたいと思つています。

ロータリーのモットーである、「超我の奉仕」、「最もよく奉仕するもの最も報いられる」

をロータリアンとして、そして一個人として、ちょっと立ち止まって考えるきっかけとしたいと思います。

「表彰ということ」

以前、ある雑誌に恵まれない境遇にいる人を紹介する連載記事を書いたときのことである。毎月、福祉施設に5,000円のおカネを35年間も送りつづけているという女性に会いに行った。8畳一間の木造アパートに住み、新聞配達をしている70歳の女性は、ぼくの取材をかたくなに拒むのをやっと思つた。

彼女は2歳のとき母親が病死、施設にあずけられる。ほかの子にいじめられる、かばってくれる職員のやさ

しさが身にしみたという。中学を出て働いた紡績工場で20歳のとき工場の男と結婚、7年間に3人の女の子が生まれるが、彼女が30歳のとき、夫は結核で死亡、彼女は夫の少額の退職金で、道ばたでリヤカーを店にしてネクタイを売る。上の子は小学生、あとの二人をリヤカーの横で遊ばせる。ネクタイは一日に一本くらいしか売れなかった。あるとき中年の女性がきて「これタイヤキ、子どもさんに」と差し出され涙がほとぼりした。

冬の雪の日、二人の子どもが空腹と寒さで泣きわめいているとき初老の紳士がきてネクタイを2本買ってくれる。彼の身なりから、とても彼女が売る安物のネクタイを身につける人とは思えなかったという。彼は一言もしやべらずつり銭もとらずに去っていった。まもなく彼女は疲労で倒れ、市役所へ行き医療費の助成を頼んだが規則でカネは出せないといわれた。しかしその職員は自分用の牛乳を一本持たせてくれて、「力不足でごめん」とあやまったそうだ。彼女は露店をやめて新聞配達をはじめた。高校へ入った子が夜は食堂の茶碗洗いのアルバイトをして二人の妹の世話をした。ある日、新聞で親のいない子の施設が経営難と知り、彼女は即座に5,000円を送った。名前は伏せた。家族4人の生活は苦しかったが、自分を助けてくれた人々を思うと苦しいなんて言っていられなかったという。35年間の毎月の送金が知れ、市が表彰したいと言ってきたとき彼女はきっぱり辞退した。

「私は昔、ある人からタイ焼きをいただいたとき決心したんです。一つの手は自分と家族のために、もう一つは人様のために使おうと。私のしたことなんか、たいしたことはない。表彰するなら私に牛乳をくれた人やネクタイを買ってくれた人を表彰してください」 彼女の言葉に、ぼくは絶句して天をあおいだ。

(小檜山博・理念と経営「くちびるに歌を持って 心に太陽を持って」30年2月号)

## ◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

### 1 ガバナー事務所より

- 「会員増強・新クラブ結成推進月間」のリソースが届いています。
- 「END POLIO NOW」チャリティーゴルフコンペ開催の案内が届いています。  
日 時 9月18日(月・祝)8時30分～開会式 会 場 表蔵王国際ゴルフクラブ  
登録料 10,000円当日集金 プレー代 各自支払い  
締め切 9月8日(金)定員になり次第締め切り  
写真撮影の為ポリオTシャツ持参の事(1枚2,000円当日代金引換)
- 秋田豪雨災害義援金の拠出のお願いが届いています。会員1名あたり1000円 締め切 8月31日
- 「ロータリー奉仕デー」地域清掃プロジェクトの案内が届いています。  
実施日 出来れば10月1日 都合の悪い時は他の日程でも可  
時間は自由(雨天の場合の順延は各クラブに一任)  
インターアクトクラブ等にも参加いただきながら実施 場 所 クラブ地域内  
清掃活動終了後 活動の写真と200字程度のコメント提出

## ◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

### 青少年奉仕アワー

#### ★ IA 年次大会報告 新沼達央委員長



宮城で開催された IAC 年次大会に鈴木信男会員と共に参加してまいりました。生徒2名が登壇し次のような活動報告を行いました。

- ・本校 IAC は今年創立 50 周年を迎えました。  
1973 年 6 月 4 日岩手県立大船渡農業高等学校会議室にて発会式が行われました。岩手の県立高校では初めての IAC です。

- ・歴史ある活動として、鯉のぼり子どもの集いがあります。コロナ禍で中断されていましたが、今年5月再開されました。
- ・大船渡警察署前花壇整備。こちらも継続して活動しているものです。本校農芸化学科が栽培した花を使用しています。
- ・50周年記念式典が本校体育館で盛大に開催されました。準備から振興に至るまですべて自分たちで行いました。記念講演や、太鼓部によるお祝いの演奏もあり、大船渡西ロータリークラブからは、感謝状と記念品を頂きました。
- ・歳末助け合い募金も毎年行っておりますが、昨年度はコロナで活動が制限されたため校内でも募金活動を行いました。
- ・ボランティア活動として、毎年東南アジアに絵本を送ろうの活動も行っています。
- ・当校吹奏楽部と太鼓部の合同演奏会の司会等仲間の活動をサポートしました。これからも、ボランティア精神と国際感覚を身に着けられるよう活動してまいります。

★ みんなのしるし合同会社 本間理子様講話



会社概要 : 前川十之朗が被災の事実と三陸の文化を世界に発信することを目的に設立した会社

「防災かけるアート」そして「三陸の郷土芸能を世界に発信するべく」行っている主な取り組み

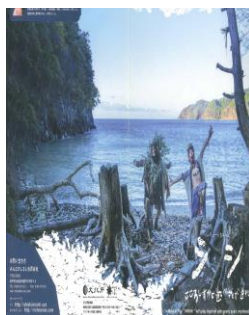
1, 舞台作品の制作

2011年当時、ドイツにいた前川は翌年2012年防災科学技術研究所委託取材員として三陸の気仙地方に赴き、

約70名の被災者の聞き取り調査を行いました。その時頂いた言葉を次の世代に繋げるため、大変な中お話を頂いたご恩を返すため舞台作品を作っています。



前川様



2, 三陸国際芸術祭

三陸沿岸地域、北は青森県八戸市、南は岩手県住田町までの15市町村が加盟している「三陸国際芸術推進委員会」を中心に「三陸の郷土芸能を世界に発信すること、郷土芸能の魅力を活かした地域づくりと復興」を目指し開催しています。みんなのしるしは事業事務局として活動しています。

三陸沿岸地域の郷土芸能団体や、インドネシアの1団体計15団体を招聘し、大船渡で10月7日(土)8日(日)の2日間開催される「三陸芸能大発見サミット」へのご協力をお願いいたします。



ボックス報告  
門田 崇会員



出席報告  
上野 哲会員